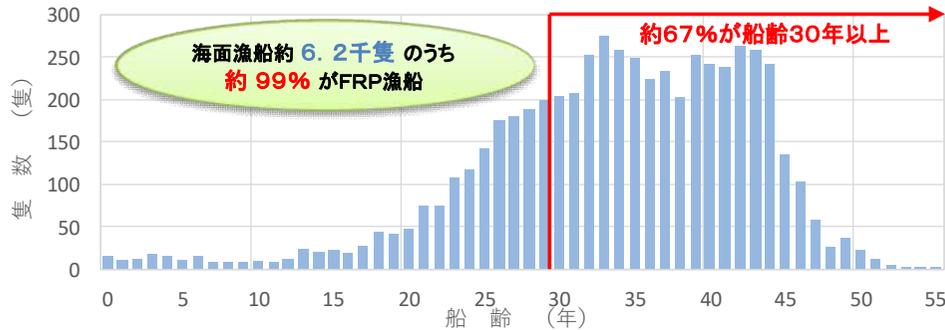


FRP漁船のリサイクル促進

現 状

- 1 ・廃船処理費用が負担となり、適正に処理されず漁港・港湾に放置されている
 ・漁船の老朽化が進み、今後大量の廃船処理が必要となると想定される



高知県における海面漁船の船齢別隻数(R4.12.31現在)

- 2 ・漁港における沈廃船(放置船含む)の隻数788隻(R4年度末見込)
 ・廃船を処理しても、新規に沈廃船(放置船含む)が確認され処理が追いつかない

高知県内の漁港における沈廃船処理の状況(単位:隻)

年度	H27以前	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	計
処理隻数	292	66	46	22	87	67	162	219	961
新規確認数	193	72	68	4	359	92	181	120	1,089
未処理隻数	561	567	589	571	843	868	887	788	—

- 3 ・「FRP船リサイクルシステム」の利用が進んでいない

高知県における「FRP船リサイクルシステム」による処理及び漁船の解轍状況(単位:隻)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	計
解轍	92	104	99	130	115	136	105	103	125	91	93	1,193
リサイクル	4	0	24	21	14	40	18	18	9	7	7	162

※解轍:漁船登録抹消の際に船舶を解体して処分すると届け出た件数

※リサイクル:「FRP船リサイクルシステム」により処理した件数(プレジャーボート含む)

課 題 ・ 対 策

FRP(Fiber Reinforced Plastics 繊維強化プラスチック)漁船のリサイクル促進の必要性

- ・放置された廃船の増加により、**漁業活動に支障をきたす**とともに、漁村の**景観・生活環境が悪化**
- ・**南海トラフ地震発生時**には、漁港背後の**集落への二次被害**や、漁港・漁村の**災害復興の妨げになる**ことが懸念
- ・**漁業経営が極めて厳しい**中で、**廃船処理費用が漁業者にとって大きな負担**となっており、**処理を適切に行うことが困難な状況**



①「FRP船リサイクルシステム」の利用しやすい制度への見直し

《課題》

- ・リサイクル料金に加えて運搬料や清掃費等が必要で費用が高額となる
- ・指定引取場所が高知市内1カ所しかない(遠隔地では運搬料が高額)
- ・破砕した船の受入れができない(運搬効率が悪い)

- ➡ **指定引取場所の拡充**
- **破砕したFRP船の受入れ**



②FRP漁船のリサイクルに係る法整備と、処理費用の預託・積立制度等の構築

《課題》

- ・リサイクルについての法的位置付けがない
- ・廃業時に高額の処理費用を負担することは厳しい

- ➡ **自動車や家電製品のような個別リサイクル法の整備**
- **購入時等に処理費用を負担する預託・積立制度等の構築**



政策提言

- ①「FRP船リサイクルシステム」について、指定引取場所の拡充や破砕したFRP船の受入れなどによる、利用しやすい制度への見直しを提言します。
- ② FRP漁船のリサイクルに係る法整備及び処理費用の預託・積立制度等の構築を提言します。